京城日報
THE KEIJO NIPPO 大正九年五月十七日 (月曜日) 第四千五百二十九號 (一)

帝國議會召集

十五日官報にて左の詔書公布せられたり(東京特電)

朕帝國憲法第七條及第四十五條ニ依リ本年六月二十九日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ召集ス

御名御璽

大正九年五月十四日 各大臣副署

朕本年六月二十九日ヲ以テ召集スル帝國議會ハ二十八日ヲ以テ會期トナスヘキコトヲ命ス

御名御璽

大正九年五月十四日 各大臣副署

對土條約履行保障

對土條約文交附は既報の如くなるが聯合國は君士坦丁堡を以て條約履行の保障とするもの、如く日本は海峽管理委員として一票の投票權を有する事となれり尚今後日本が歐洲政治問題に活躍するには更に有力なる代表者を派遣するを要すと(巴里電報)

過激派陰謀爆發か

墨西哥に於ける過激派各將軍の陰謀遂に爆發すべしとの報道あり米國政府は戰闘艦一隻驅逐艦三隻並に陸戰隊二千名を墨西哥に派遣したり尚カランザ大統領の運命に關しては革命軍の爲に捕へられ居るも其の一身は安全なりとの半官的報道ありたるが未だ確實ならず(紐育電報)

宣傳運動者逮捕

ゴフ來電に依れば獨逸人三名國境を通過せんとして逮捕せられたるがスパルタカス團の宣傳運動に關する報告を所持し居たり右に依れば秘密印刷物を伊太利、波蘭、チエクスロヴアツキヤ、匈牙利、墺太利及獨逸に宣傳するものなりと尚右宣傳は某國に於て好都合に進捗しつゝあり過激派秘密會議は五月二日獨逸ケーニヒブルヒに於て開かれたりと(倫敦電報)

勞働同盟解散命令

佛國政府は勞働總同盟セー、ジー、テーを解散せしむる目的にて右同盟に對し手續を執る可く司法及商務卿に命じたり(倫敦電報)

淒慘言語に絶す

尼港事變=最近歸還者事實談

十四日朝鳳山丸にて敦賀に上陸せる在尼港島田商店員及川兵三郎氏が五月二日浦鹽に著せる露國議員組合委員ホンテンマルフ、ウラム、カレゴ三氏の事實談として尼港事件の詳細に就て語れる所左の如し(敦賀電報)

四月上旬赤衛軍は尼港要塞を運撃し其の麓に在る我無線電信所を砲撃破壞せるを以て我兵士は市外に退却せるが赤軍は我大隊本部に勸降狀を送り來りしも應ぜざるより更に領事を經由して戰闘中止を交渉し來り十八日妥協成立したり我軍は嚴正中立の態度を執りしが白衛軍の立場益々困難となり赤軍の壓迫益々强大を加へしより同隊司令官メドウヱスキー衛戍司令官トロレオ大陵長ドレフ三氏は遂に自殺するに至りしが赤軍は一層横暴を極め我軍に關係を有する後貝加爾州在のコミツサルエルフ氏を始めとし該國漁業家及税關員自治團員等は慘殺せられ其の他は十一日迄に投獄せられ其の數八百五十名に達せり斯て十二日期限を超ゆて示威運動開始と共に要塞衛戍兩司令部は公式議儀の實行を協議し尚我軍に對し十二日正午を期し武裝解除を要求せるが結局我軍は決然と赤衛軍司令部となれるハイチリン商會を包圍し砲撃したるに過激派頭袖十名戰死し陸軍司令官は逃亡の途中射殺せられたり[illegible]より參謀本部將校集會所、[illegible]し軍威大に張たるが赤衛軍の殘黨[illegible]し大隊本部に砲撃を加へ市外の本部を占領し二同盟會[illegible]行ひしが將校集會所及要塞等は燒失せるより敵は主力を集[illegible]山田商店を砲撃せる爲十二日午後遂に同店は燒失せり爰に於て赤衛軍は一手は領事館に一手は大隊本部に向ひ日本領事館に對しては特に猛烈なる砲撃を行ひたり同館には我在留民全部避難し居りしが之が爲悉く負傷し十二日同館の燒失と共に在留民は枕を列べて燒死するに至れり我軍の殘存せる者四百二十七八名に過ぎず而も彈藥既に盡きて戰闘力を失ひたるも敵軍の捕虜となるは忍びず思ひ數十名に 天皇陛下の萬歳を叫びて自ら火中に投じて燒死したるが光景悲慘を極めたり而して領事館と大隊本部との間の聯絡は敵軍の爲に絶たれ通信の交換を爲す能はず隨つて其の間の消息は全然不明なりしが同八時に至りて日本領事の戰死せるを發見したり夫れより敵は十三日午後に至るも尚頑强に大隊本部前に於て戰闘を繼續中哈府に於て日露兩軍協定の休戰命令の電報到着せしかば敵の捕虜となりし日本通譯を向けて休戰を申込み爰に休戰を實行し同時に敵の捕虜となりし我軍總員百二十名在留邦人十名日本大隊本部より露國兵營に收容せられたり島田商太郎氏の家族が燒死せりとの説は全く虛報にして同氏の妻カネ子其の他は長崎に居住し何れも健在なりと

新內閣組織決定

薩鎭冰氏總理代理任命

徐總統は十三日夜曹交通總長を招見して內閣問題を商議し曹總長が周樹模氏の內閣組織に關し安福派方面の意思疏通を引受け結果周內閣組織を決し十四日午後大總統令にて靳總理は十日間の休暇を許され薩鎭冰氏に一時總理代理を命ずる旨發表された(北京電報)

靳總理擁護示威運動中止

天津の督軍代表等靳總理擁護の示威運動を爲さんと計畫ありしも靳氏が斷じて就任の意無きを見極めたれば其議中止されたるも今回靳氏の辭職を餘儀無くさせし安福派に對し反感を有し居れば或は督軍對安福派間に一大波瀾ある可き模樣あり(北京電報)

東支鐵道督辦任命電請

張作霖氏より曹汝霖氏を東支鐵道督辦に任命あれと二回迄電請し來りたるが政府も亦之を容るゝ方針なりと(北京電報)

皇族會議

十五日の皇族會議にては伏見宮殿下議長席に就かれ嚴て懸案となれる皇族の御身分に關する帝室典範增補案件の御諮詢に就き波多野宮相石原次官倉富總裁より御説明申上げ議長殿下には適宜事務の御整理遊ばされ御評議相成りたる御內議により各宮殿下にも元分らが既に先般伏見宮邸に於ける御評議の事とて別段異議無く通過し十一時四十分頃御散會あり一同別室にて午餐を賜はり午後一時頃御退出相成りたるが當日 天皇陛下には御都合に依り出御あらせられざりし趣き拜承す(東京特電)

大臣總裁親任式擧行

既報の通り新大臣及び國勢院總裁親任式左の如く十五日午後二時擧行されたり(東京特電)

任鐵道大臣 元田肇
伯爵 大木遠吉 任司法大臣
小川平吉 任國勢院總裁

鐵道次官

鐵道省新設と共に左の任命あり

任鐵道次官 石丸重美
任鐵道技監 杉浦宗三郎

其他各局長以下は從來の人々を任命ありたり(東京特電)

大岡氏任命か

外交調査委員

臨時外交調査委員大臣待遇元田肇氏は十五日鐵道大臣に任命せられたるが其の結果外交調査委員を辭任すべきを以て元衆議院議長大岡育造氏同委員仰付けらるゝと同時に大臣待遇を賜ふべしと傳へらる(東京電報)

兩官制公布

十五日勅令にて國勢院官制鐵道省官制文官任用令中改正の件其の他附屬法規改正の件公布されたり(東京特電)

尼浦鐵道引渡完了

在浦鹽松平領事發外務省著電=五月七日星野小將とウスリー鐵道長官との間に鐵道引渡し協定成立し鐵道從業員に關しては日露に當分我職工を入ることゝし我軍事列車の機關車には必要に應じて哨兵を置くことに同意したれば十一日午後六時を以て鐵道業務を露國側に引渡すことに決定したり浦鹽ニコリスク間鐵道引渡しは同十一日順序能く完了し從業員も殆全部從業し一日三列車浦鹽發運轉せしめたり右はニ市ポプラニチヤ間運行聯絡する筈なり尚ニ市ハバロフスク間は十四日迄に修理引渡しをなす筈なりしも破壞箇所多く同日迄には修理完了せざるべきを以て目下の所引渡しの期日未定なりとのことなり(東京電報)

米露協議內容

其筋著電=米有力者の言に依れば米國外交部代表者某は最近入港せる米國軍艦にて浦鹽に上陸し臨時政府と經濟的協議をなせるが其の要領左の如し(東京電報)

(一)浦鹽に在る軍需品の引渡(二)砂金礦類の購買(三)北部樺太及スーヂヤン炭礦の採掘權並インターナショナルバンカールに關する特權の獲得

日露委員會見

パ團代表

十三日興凱湖南方にパルチザン團大將キエフチエンコ代表者ペイフ。ハイロフブル。ペニユーフの三名スパスカヤより來り日露停戰委員と會見せり彼等はニコリスクの戰闘に參加せる者にして帽子に赤色の徽章を附け其のパルチザンたるを示せり當日午後ウスリー以南ボルコフト大隊の代表者ルサエフスキー外一名も列車にて來れり列車中にて日露停戰委員と會見し何れも中止撤退を協へ來れり一行は十四日午前十一時スパスカヤ出發北上すべき筈なるもハバロフスク、ニコリスク及ウスリー間は鐵路の破壞甚だしく汽車不通の爲スフイヤギノに於て列車を棄てゝ徒歩にて前進の筈なり同地方は通信機關もなく鐵道員來交通全く杜絶せるが斯る狀態に在りて敵地に進入するは頗る困難なることなり(ニーキヤエフキユ特電)

過激派決死隊組織

黑河消息によりの來電に依ればブラゴエチエンスクの過激派は日本軍と決戰す可く革命軍決死隊を組織したりと(北京電報)

國勢院部長任命

國勢院官制公布と共に左の任命ありたり(東京特電)

國勢院第一部長 牛塚虎太郎
同 第二部長 原象一郎

大使關東長官親任式延期

十五日各大臣親任式と共に駐英大使及び關東長官の親任式行はせらる筈なりしも都合に依り當日は之を行はせられざりき右は親任奏請の都合に因り兩三日遲延すべしと(東京電報)

所得酒稅兩法案施行期

臨時議會に提案すべき所得稅及酒稅の兩法案の施行期日は四月に遡及すべきか八月以降とすべきかに付いては財源の關係上種々なる問題として考慮したる所なるが四月に遡及するは徵稅上至難なるを以て遂に八月以降施行することに決せりと而して四月より七月に至る四箇月間は舊法に依りて徵稅せらるゝを以て新増稅計の減少を見るべく結局本年度増收たる五千七百餘萬圓中二千萬圓は四千萬圓內外にて之に依り收財源二千萬圓の缺陷は國防計畫の年割額の繰延を以て辻褄を合すに至るべしと(東京電報)

京城現株定款

(承前)

第五章 仲買人

第二十六條 當會社の仲買人は四拾名以內とす但其人員は役員會の決議に依り之を定む

第二十七條 仲買人たらんとする者は履歷書其他必要なる書類を添へて當會社に願出づべし當會社は之を調査し朝鮮總督の認可を得て之を許可す

第二十八條 三ヶ月以上の懲役又は禁錮の刑に處せられたるものにして刑の執行を終り又は其執行を受くることなきに至りたる日より三箇年を經過せざるもの及仲買人にして除名處分を受けたる者は除名の年を經過せざれば仲買人たることを得ず

第二十九條 仲買人の身元保證金は金壹萬圓とす

但保證金の半額五千圓は即納せしめ殘額は取締役會の決議を以て期限を定め分納せしむることを得

第三十條 仲買人が左の各號の一に該當するときは本會社は左の區別に依り之を處分す

一、正當の事由なくして引續き三箇月以上本會社に於て賣買取引をなさゞる者 除名

二、家資分散又は破産の宣告を受けたる者 除名

三、懲役又は禁錮の刑に處せられたる者 除名

四、前號の外仲買人にして其營業に關し他人に其名義を貸與し其他不正の行爲を爲し、本會社又は仲買人の業務を妨害したりと認むべき者 過怠金、營業停止又は除名

五、仲買人にして身元保證金、賣買證據金、賣買手數料其他の賦課金又は過怠金の納入を怠りたる者 除名

但特に宥恕すべき事情ありと認むる者に付ては三箇月以上の營業停止又は過怠金を以て之に代ふることあるべし

六、仲買人にして其身元保證金若くは賣買證據金に付裁判所より押收差止の命令を受けたる場合に於て本會社の指定に從ひ指定期限內に相當の金額を納入せざる者 除名

七、身元保證金の返付を受くべき權利を他人に讓渡し若くは讓渡の豫約を爲し又は質入れ若くは質入の豫約をなしたる者 除名

八、仲買人組合規約規定に違反して委託手數料を輕減したるもの 過怠金又は營業停止

九、受渡を履行せざる者 過怠金、營業停止

十、前各號の外法令定款營業細則の規定に違反し本會社の秩序を紊すと認むべき者 過怠金、營業停止又は除名

第三十一條 仲買人は全員を以て組合を組織し組合委員を選擧すべし組合委員は委員中より委員長副委員長を選擧すべし

第六章 賣買手數料、賣買證據金

第三十二條 卅二條より卅三條略

第七章 違約賠償

第三十四條 取引の違約より生じたる損害に付ては徵收したる其證據金額を限度とし損害を受けたる者に之を交付す

第八章 計算

第三十五條 計算期は一年を貳回に分ち前年拾貳月壹日より當年五月三十一日迄を上半期とし六月壹日より拾壹月參拾日迄を下半期とす

第三十六條 當會社は毎期の總收入金より總支出金を控除したる殘額を純益金として左の如く分配す

一、法定積立金	純益金の百分の五以上
一、別途積立金	若干
一、役員賞與金	純益金の百分の十以內
一、社員恩給基金	若干
一、株主配當金	若干
一、後期繰越金	若干

第九章 營業細則

第三十七條 營業細則は取締役會の決議を以て之を定め朝鮮總督の認可を受くるものとす

附 則

第三十八條 當會社の創立費用は金壹萬五千圓以內とす

第三十九條 當會社は其株式の一部を額面以上の價額を以て發行することを得

第四十條 初期の計算期に限り會社成立の當日より大正九年十一月三十日迄を一期とす

京株市場位置

前途曲折あらん

京城株式現物取引市場の位置は明治町東拓支店前に略決定し昨夏李王職より土地の買收をなし居れるが最近市中有力者中現地位を不可とし黃金町三四丁目邊の民家を買收するか若くは他の適地を選ぶべしとの運動起り十五日の創立總會にても發言者ありたりその主張點は(一)現敷地の豫定地は狹隘にして數十軒の仲買店その他を抱擁するに不便なり今日假りに狹きを忍んで明治町に決定するも遠からず移轉の必要を生ず(二)成るべく市中の普遍的發展を期する上に於て多少偏せる土地にせよ之れを選み附近の繁榮を圖すべし市場は必らずしも市の中央ならずとも可ならんと云ふにある如く鑑に一理あれど某々筋の飛躍も含まれ居れるやの説もあり本問題の前途は仲買人の選任と共に其の決定までには多くの曲折を經べきか

株式內氣配

大阪前場後場引値は欄外所載の如く大株二百二十九圓五十錢大新二百十圓と同日前寄りに比し五圓五十錢より新二圓十錢高を示し郵船三圓二十錢高新五十錢商船七十錢安鐘紡二圓高新二圓五十錢安東紡四十錢安東糖常米五十錢高上取一圓七十錢高と大體に於て保合ながらも底堅き商況を示し居れるも颶風一過後の常として一般の警戒極めて嚴なる結果新規思惑杜絶の傾向となり少しく相場が上向かんとすれば高値の賣玉を呼び直に伸び悩む現狀にて當分は此儘小高下の保合を繰返す外なかるべしと觀測されつゝあり內地の市況右の如くなるを以て從つて當地現株界も更に活氣なく賣買株の如き京株、鮮銀、東拓、南滿の僅々の種に限られ其他の端株は之を顧みる者無き狀態なり今日內氣配は京株三十七圓と前日より小一圓方引締たるは總會懸念の一掃に安心買を呼びたる結果なるべく殖銀新は二十一圓處より軟化して今朝は十九圓五十錢より九圓見當鮮銀新も五十一圓處より四十八九圓と孰れも氣弱き成行きを示せり

水野總監出發

十五日朝來市內官公衙巡閲中なりし水野政務總監は午後二時元山發咸興に向へり(元山特電)

鑛業團通過

滿洲視察の日本鑛業會員一行三十五名は十六日安東通過南行せり(安東縣電報)

公會私會

▲鑛技師送別會 水口鑛業技師長佐之助氏は今回辭職歸國に付總督府有志の發起にて十六日午後七時より京城倶樂部にて送別會を催す出席希望者は會費三圓持參の事

人事消息

▲牧山耕藏氏(朝鮮新聞社長) 十五日夜歸城

▲鈴木よね子(神戸鈴木商店主) 十五日夜來城天眞樓へ

▲井戸川辰三氏(陸軍少將) 十五日夜來城旦城館へ

▲野呂工學博士等日本鑛業會員一行三十五名 十七日午後六時五十分京城通過釜山へ

京株の役員

京城株式現物市場の創立總會も圓滿に終了した▲內外の風評から見ると少しは議論も出るだらう質問も出るかと吾れも人も豫想して居たらしい然し無事閉會はお芽出度い▲役員は取締役七名監査役五名株主も多いが役員も多い▲數から見ると京城八名南浦大邱釜山仁川各一名宛となり會議所在地で役員を出さなんだのは元山平壤木浦群山の四地である▲顏觸は既に傳へられた如く各地の歷々だ、元老だ、朝鮮の株式取引市場の連中である▲唯相變らずの御連中揃ひで些かの新味をも加へぬのは少々物足らぬやうな氣もある▲社長の釘本君、專務の天日君はよくウマがあつてゐるらしい、事務は閑散▲釘本君はドコか一徹で融通のきかぬ點はあるが責任觀念の强い人だ▲天日君は多くの敵はある君を毛嫌ひする人は多い、然しそれは君の拔けてゐる事を語るものだらう▲顏が見えるやうな點のよい水も洩さぬやうな點がある▲アリテイに云ふと君は本務たる精米社長の關係上專務就任を固辭したらしいが他に適任者はなし好個の相棒として釘本君が口説き落したものだ▲芳林君は常任監査役となつた、君は確つかりした男だが口は可なり喧しい方である▲事後を監査する役目は少々君には喰ひ足るまい、が事實は社長專務の顧問としてその株運を發揮するのであらう▲兎に角陣立ては出來た役者は揃つた要面の進程を手際よく而して成るべく早くやつて欲しい

寸塵

土耳古委員が講和條約正文を佛國外務省で受取つた電報が來た▲電文は簡短であるけれど其光景は悲慘として活動寫眞でも見る樣に胸眼に映する▲華麗る威儀嚴然と正面には司會者佛國內閣首長ミルラン君が構へて居る▲其右には聯合國の外交代表者がヅラリと並んだ晴れの舞臺▲其中に挾んでミルラン君が土耳古委員に通告する▲通告と云へば通り一片の樣に聞こゆるが此通告は土耳古に死刑の宣告を與へた悲慘な通告であつた▲土耳古委員中の一人イツクバーシヤが差し出した手はブルブルと慄へて居た而して彼はミルラン君から條約正文を受取つた▲見る見る彼の顏は蒼白になつた他の委員何れも悄然と頭を垂れて居る▲並居る參列の人々も土耳古委員の胸中を察して互に息を呑んで場內は寂然たる光景を呈した▲而して此の瞬間暫時沈默が續いたがやがてイツクバーシヤは悶然し切つた聲で條約承認の旨を語つた▲此の光景は實に大戰終幕中の大舞臺であつて殆ど悲壯の極致であつた▲三日月旗は最早史上の事實として僅に殘影を背景的に地球上に留むる事となつた▲光輝あるオツトマン大帝國は遂に獨逸の轍を踏みて一代の終熄を告ぐるのは史家をして同情の涙を注がしむる價値は充分にある▲而して此の結果に滿足するのか右手に聖典左手に劍を取つて立つた先祖の血を受けた教徒が此償に更に其波浪を承知するか否やだ

本號四頁

法人登記公告

寧越金礦組合(變更)

大正九年四月參拾日定時總會ニ於テ決議ノ結果左記ノ者監事ニ選任ス

寧越郡寧越面下松里貳百六番地 安敦銘

右大正九年五月拾日登記

京城地方法院寧越出張所

一、松丸太其ノ他

右購買スル供給希望者ハ五月十三日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

土木部出張所

京日案內

◎農場ヲ求ム

面積其他ノ詳細御通知乞フ本人參上

永登浦面揚坪里 松本隆重

▲藥劑師一名採用

希望者は至急申込まれたし

平安南道安州城內 吉田商會藥舖部

◎印刷機械本檢

六頁動力掛二枚掛卸賣却ス

京城太平通二丁目一〇九番 初田活版製造所

讓店

和洋紙商 機械活字器具一式 建物宅地 共全部讓リ度 照會ハ黃海道海州 野口紙店

掘下品

公立大分板片面削 松板七百坪 杉正四分板 杉板八百坪 同本商店 至急賣卸ス

電話五六三番

女子事務員募集

希望者ハ履歷書携帶ニ出頭アリタシ

光化門郵便局

▲お針に傭ひ度し▼

子供著物種々 其の他當方へ御出の上面談

新町 萬遊樓

年金恩給 長期低利日掛金 御立替可致候 ▲祭日ヲ不問 京城永樂町二丁目 西本願寺下角 江州屋本店

●募集

看護婦見習生若干名 希望者ハ來談アレ

仁川仲町 佐藤病院

▲代診生入用

希望者は至急來談又は履歷書送れ

仁川內科小兒科 小倉病院

改電話二七九六

大正土地建物株式會社

▲店員入用

貳拾歲未滿の者本人來談あれ

京城明治町二 宇治屋茶舖

▲古本高價買入

電話八六五番 振替京城參三七〇 本町二丁目 文光堂支店

◎古本比無高價買入

是非御試し乞ふ 御報早刻參上 電話三一九五 本町二丁目 群書堂

●ほねつぎうちみくじき

一切の治療御依賴に應ず

明治町 柔術道場

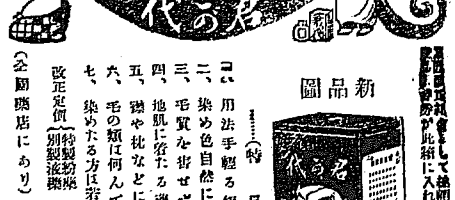
仁川學校組合會議員最適任ト認メ茲ニ候補者ニ推薦ス

仁川輸出輸入雜貨店有志

仁川銀行團有志

仁川有權者有志

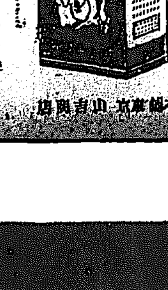
堆浩



獨特の藥で出來てる

赤毛 白毛 染

新品圖



創製十周年記念として總額一万五千円の賞品券が此箱に入れてあります

……(特長)……

一、用法手輕る短時間に染る
二、染め色自然にして永く褪ずる
三、毛質を害せず毛艶を增す
四、地肌に着たる藥はすぐとれる
五、襟や枕などによごれつかず
六、毛の類は何んでも美麗に染る
七、染めたる方は害がへり壯快を覺ゆ

改正定價(特製粉藥 四十錢)(別製液藥 大七十五錢 小五十錢)

(全國藥店にあり)

本舖東京 山田吉南堂

開東洋第一 東京自動車學校

本校生徒ハ悉ク警視廳甲種運轉手試驗ニ應ゼシム 東京 研究科一ヶ月 專科二ヶ月 本科五ヶ月 六十餘日入學許

研究科及專科各毎月一日及十六日授業開始 ▲校外生入學隨時許 大阪市岡町 大阪自動車講習所

研究科專科各毎月一日開始 ▲校外生入學隨時 福岡市中島町 福岡自動車講習所

專科毎月一日及十六日開始 ▲校外生入學隨時 京城府黃金町 東京自動車講習所

當亭園內の藤は既に紫水晶を聯ね下たるようにて綠り滴る滿園の若草と相映へて得も云はれぬ眺めであります魚料理を味いつゝ此景趣にひたるは夏無上の清興と存じます

電話二九八六 奬忠壇 甘泉亭

織元大暴落

此際産地から買へば半値段

足利は年額六千萬圓の本邦唯一の織物大産地なれば値段が安く品が良い…織元丸登の格安

最近相場の半値を以て夏衣五萬反供給

丸登新銘仙絣 男女向 珍柄 四圓
特製銘仙絣 男女向 珍柄 七圓半
特製銘仙縞 紳士向 珍柄 上特 七圓
精華縞御召 婦人向 珍柄 十一圓
精華模樣御召 婦人向 珍柄 十二圓
大巾縮緬兵兒帶 上特 [illegible]
八千代羽二重 女及び絞り [illegible]
朱子友仙女片側帶 四圓
優美紋織男角帶 三圓
縞セル ハカマ地 衣等 好適 [illegible]

遠方よりの御注文は男女別年齡を記し御注文御申込順に代金引替にて御送り致します 御不足の節は御取換又は返金致します

振替東京一二六〇三

栃木縣足利町 丸登足利織物株式會社

外光花やかに降注ぐ 白日の下戰機熟せり

選手士氣いよいよ白熱し 數萬の觀衆場を繞りて歡呼す

龍山新練兵場に於ける 陸上大競技盛觀

今夏白耳義に於ての擧行の萬國オリムピック大會は今や目前に切迫し日本體育協會選出の優秀選手の一行は既に

西歐の地に 向つて

故國を出發したがこれが爲め今春の內地運動界は空前の白熱的興趣を顯いだ我が朝鮮體育協會も深く稽ふる所あり茲に空前の壯圖たる全鮮陸上大競技會を決行し鮮滿運動競技界の覺醒を促し指導を與へ以て國民元氣の精華たる運動獎勵に貢するこ共に斯くも大正十年度の國際競技には

朝鮮代表の

選手を送らむ事を期し會長美濃部鮮銀總裁以下官民一致して調査研究を重ねた結果紳士學生青年は一齊に協會の擧措に共鳴し參加申込者數百名に達し遠く咸鏡道方面よりも出場するあり其盛況は蓋し豫想の外であつた一方噫喝側も議眩の賛意を表し兒島中將大野少將以下は當日會場に於て親しく

審判の勞を

執り會場たる龍山新練兵場は兵其他非常の好意を與へられた更に總督府を初め銀行會社一般民間有志の聲援應援盛んにして賞品の寄贈山の如く又朝鮮新聞社並に本社よりも金牌銀牌を寄贈した斯くて十五日中には競技場の設備も全く整ひ明くれば十六日數百の健男兒が勇ましく榮を爭ふ意々の日は來たのである

雪白のライン 輝かに 潑剌たる元氣場に充つ

絕好の運動日和であつた五月の運日の好晴に引續いて十六日も光は南山の新綠を繞つて輝かに朝曙尙ほ深き午前七時こ云ふに早くも先着の大會委員は粥々會場に見わたが間もなく選手連が三々五々參集し受附係に到着屆を出して番號票を受け取直ちに

選手控席に 退く

前八時審判員競技監督各役員は委員長を中心こして競技規程其他に就て詳細な打合せを了る。京城中學及工業傳習所等々旗の大旗を押し立て小旗を振つて入場した會場には潑剌たる元氣が漲り四百米突を一周こするトラックには雪白のラインが鮮かに條こなく風薰初夏の地上に正しく引かれて雄大の疾驅を待つてる午前八時半悉べての

準備が整ひ

兒島中將大野少將以下役員一同會場に整列し一方血湧き肉躍る選手の面々は白のユニフオーム凜々しく時々を到るを待つた

鐵脚、薰風を截つて 大競技の序幕落つ

仁川京城間のマラソン競走 參加選手出發す

午前八時三發の號砲鳴き渡るこ競技場の中央なる青樂隊は喇叭たる樂聲が奏せられ會場の空氣は

緊張白熱し

場を閲む塔の如き數千の觀衆は手に汗握つて今日の壯圖を期待した百米突の聽て當日第一の番組たる百米突豫選の選手が召集されてスタートに並ぶや榮ある今日の大競技の序幕は切つて落された看よ健兒の意氣を！隼の如き九人の韋駄天は弓弦を放れた矢の如く大地を蹴る鐵脚の冴は素晴らしい百米突豫選四回は滿鐵の網干宗一君に依つて十二秒こ云ふ立派なタイムレコードを示して居る、午前九時

仁川京城間 廿五哩

マラソン競走參加の選手百十三名は競技場中央に整列し審判長兒島中將より詳細懇切なる競技上の注意を與へられて午前九時四十分係り員引率の下に龍山驛に向つた選手は仁川驛で午後一時仁川稅關前の出發點を出發する筈である

一方會場で

は二百米突豫選に入つた三百米突も千の走の距離こて參加選手甚だ多數なるにも拘らずタイムレコードは內地に比して遙に遜色あり僅に滿鐵の網干宗一氏が二十四秒五分の三こ云ふレコードを示し得たるのみであつた

京城一周 十哩競走

第一着は 崔洪錫君

午前十時京城一周十哩選手廿二名に技場を出發せしめ間もなく

歡呼の裡に

場を一周して決勝點に入れるがその成績は左の如し

▲第一着 二五四番崔洪錫君（一八）▲第二着二五一番金相潤君（二〇）▲第三着二五七番金其萬（一九）▲第四着千石慶次郎君（一七）▲第五着二六五番的野勇一君（一八）▲第六着二三七番安達次郎君▲第七着二五五番崔洪植君（二二）▲第八着二六四番不詳▲第九着荣喆君（二二）▲第十着二二二番遠藤一郎▲第十一着安達寬君（二七）

鍛へに鍛へた脚

は偉力ある筈にも似て若武者の龍山公園附近から龍山を驀進約一時間の後來たく韋駄天の歩みめく觀衆の聲に一同は選手の姿を待構へてるこ午前十一時五十分頃二五四番こ番號せる優勝の韋駄天は拍手こ喝采に迎へられ會場に偉容を現はした見よ

一萬米突

第一着は 古屋武君

續て競技委員の號令に依り當日の呼物こして廿五哩十哩のマラソンこ並び稱せられる一萬米競爭は開始せられたが此の競技には前回の十哩マラソンに參加せる人々もあつて

場の內外

が緊張させる ここ夥しく『用意』の信號こ共に號砲夏の空をかすめ輕快にスタートを切るこ樂の音は一般觀衆の胸を躍らせる、さしもに意氣昂進の青年も一齊に步調を定め一絲亂れず愼重に驅けゆく折柄一周二周後や先の聲援は徒には審判員より詳細なる注意を與へられ十一時四十分會場の出發點を一齊にスタートを切つたよ見よ

十周二十周の聲に各聯隊からの聲援歌は悲壯な調をもつて叫ばれフレー〜の聲ごつき中空をつく頃既初より先頭第一を占めた十一番は猛烈なる聲援の中に

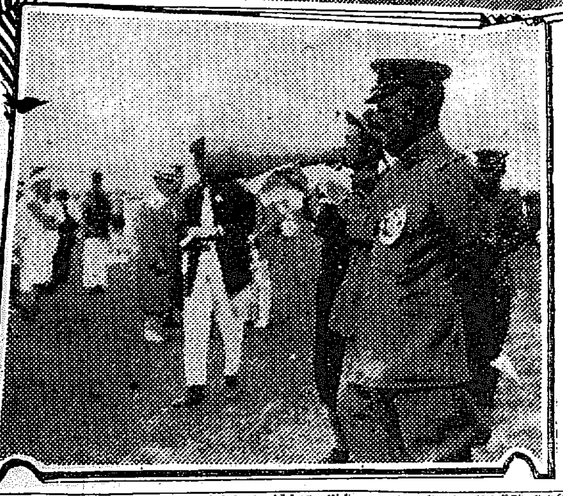
觀衆の意 を迎へつ、

あつたが果然後一周の廿四周目になつて無念や落伍の止むなきに到り途中トラックの上に打ち倒れ委員の背に縋り救護所に導かれたるが此時技場の空氣は最高潮に達し最後の數分間に於ての番狂は壯絕を極めた成績は左の如し

第一着（四十二分十秒）六十一番 古屋武君（一八）△第二着村上元治君（一七）△第三着村上良英君（一七）△第四着西澤克巳君（一九）△第五着小岩井武君（一七）△第六着朴東變君（二〇）△第七着阿比留覺人君

走幅跳豫選

逐次プログラムの進行に從つて走幅跳第一回豫選に移つたが此の種の競技は我半島運動會に於て稀に見る競技のこ、て競技者にも自身のあるもの少くレコードは一番の網干宗一君（滿鐵）十七フイート九を示したに留まつてゐた



陸上大競技會にて （上）千五百メートル競走 （下）場內雜觀

哀音深し『吹なす笛』

富塚泰介中尉の葬儀

宇都宮衞戍司令官管理の下に龍山大念寺に於て執行さる

陰ながら見送る病床の母堂

去月五日浦鹽ニコリスクの戰鬪に於て勇敢奮鬪の末壯烈なる戰死を遂げたる富塚泰介中尉の葬儀は十五日午後三時龍山衞戍司令官宇都宮大將管理の下に小寺外二郎中佐葬儀委員長こなり淨

大念寺に

於て莊嚴に執行されたり是より先三坂通の自邸にては遺骸に就て告別式を行ひたるが樂隊の奏する哀音の樂音は一入の哀感を深からしめたり、葬儀は宇都宮大將淨法寺中將兒島中將工藤道知事大野奧田兩少將將校多數の花輪生花花籠を先頭に龍山町內會等より寄贈されたる

弔旗風に

翻り緩柩には中尉が出征前著したる正裝を掩ひ『故陸軍步兵中尉從七位勳六等功五級富塚泰介之柩』こ記せる銘旗折からの青風に翻ふも伶人の樂と柴川少尉の指揮する儀仗兵一小隊の奏する悲しみの曲こは更に淚を誘はしむ記せる白木の位牌は

富塚家の

家例に依り爲丁是を奉持し靈柩の左右には故人の同期生正裝して侍し其の後には喪主誠君を初め令弟並に令姉令妹從ひたり次に龍山在鄕軍人分會の分會旗を先頭に加藤會長以下各會員將校婦人團及朝鮮少將を初め各部隊の上長官以下將校下士數々十餘町に連らなれり病床にある母堂は

陰ながら

見送らんこ助けられて門前に到り人垣の間に隱見する柩の見わずなるまで見送るたるが哀しみ更に新しく覺わけむ、はふり落つる淚を人に見せじこ拭ふさまは會葬の人々の胸を曇らせたり、大念寺には葬儀場を廐舍に設け、三時三十分一同著席するや最美濃師は水野副導師以下衆僧を從へて莊嚴讀經を始め次いで引導ありそれより後步兵第六十六聯隊留守隊より

參列せる

秋山步兵中尉は第十四師團長白水淡中將及大橋步兵第六十六聯隊長の弔詞を代讀し

哀音深く

流れて寂しさして聲なしかくて莊重裡に葬儀は終りたるが會葬者の重なる人いて將校團を代表せる小寺中佐島院在鄕軍人分會長、同期生、宮城縣人會葬等の弔詞朗讀ありたる後再び讀經中喪主誠君其他親戚會葬者燒香あり終つて柴川少尉指揮の下に儀仗少隊は弔銃を發し『吹きなす笛』の曲を吹奏す

富塚中尉葬儀 喪主及び故中尉の令妹令弟

春天の大祭

十四日

より奉天神社大祭擧行されたるは宇都宮大將淨法寺兒島兩中將大野奧田雄三少將松永外事課長工藤道知事を始め無慮七百名の盛儀なりき

十五日は曇天なりしも朝より人出多く近來稀有の賑ひを呈せり加ふるに新市街側の大運動會開會せられて一層の景氣を添へたり（奉天特電）

伊太利飛行機の新義州着は二十日頃

着陸場の準備完成す

新義州の飛行機着陸場の修理工事は十五日迄に全部完成したるを以て森探偵委員より軍司令部及び北京に對し其旨電報にて報告せり伊國飛行機の新義州着は二十日頃の豫定にして各準備に忙殺されつゝあり（新義州特電）

上空より眞逆樣に 瀧川中尉墜落

秋野が原最初の椿事 重傷にて生命危篤

三重縣秋野ケ原に於て空中射擊練習を行ひつゝある陸軍航空學校第一期學生飛行隊附瀧川步兵中尉（過日各務ケ原大阪間ニユーポール式編隊飛行隊長たりし將校）は十五日午前九時二十五分ニユーポール式第十六號機を操縱し二千三百米突の高空に於て横轉二回を演じ、シグールレー（錐操飛行）に移り約三百米突より百米突に於て數十回旋回をなし百米突の高度に於て水平に復するを待たるも此時既に機體に損所ありしものか昇降ガ矢ひ約四十米突の空中より眞逆樣こなり豐濱村字小池池內水田に墜落して機體は逆立ちこなり同中尉は左足を挫折し右腕並に顏面に重傷を負ひ人事不省こなり生命危篤に瀕せり因に秋野ケ原練習に於て同樣の椿事なり（三重電報）

東京 大相撲夏場所

二日目勝負

東京大相撲夏場所二日目の勝負左の如し（東京特電）（十五日）

光風	押し切り	大ノ浦
能代潟	押し切り	逆鉾
若葉山	押し出し	宮城山
岩木山	小手捻り	東
源氏山	突き出し	紅葉川
三杉磯	浴せ倒し	釋迦
阿久津川	寄り倒し	山
土州山	掬ひ投げ	御西山
荒見潟	寄り返し	琴ケ浦
黒瀬川	寄り倒し	九州山
大戸平	寄り倒し	摩耶山
小牛田	渡し込み	友綱
駒泉	踏み越し	藤ノ川
射水川	突き出し	大の里
兩國	持ち出し	大潮
千葉ケ崎	踏み越し	大鳴門
大錦	寄り倒し	大岩門

中入後

▲土州山に御西山は左四ッ土州の掬ひ投げ美事極つて土州の勝▲荒見潟し琴ケ浦は荒見取つたりに行きて殘るを切つ返して荒見の勝▲黒瀬川に九州山は左四ッ黒瀬二本差しこなり一氣に寄り倒して黒瀬の勝▲小牛田山に友の浦は左四ッ友素早く外掛渡し込んで小牛田の勝▲摩耶嵐に大戸平は左差し寄り倒して大戸の勝▲駒泉に藤の川は右四ッ藤吊り出せしも踏み越して駒の勝▲大の里に射水川は射水素早く右足を取り送り出して射水の勝は呆氣なし▲兩國に大潮は双方の聲援盛んなり右四ッ兩の吊りを潮外掛けに防ぎしが其儘持ち出して兩の勝▲千葉ケ崎に大鳴門は大門下手投げを見せしも踏み越して千葉の勝▲大錦に大鳴門は右四ッ寄り合ひ寄り倒して錦の勝（打出し五時四十分）

▲右の中光風に大の高は光双筈一氣に押切り光風の勝▲若葉山に能代潟は能代若を强引に極め出さんこし若廻り込み押切つて若葉山の勝▲若湊に逆の矢は猛烈に突き肩すかしにて若湊の勝▲矢筈山に福柳は福猛烈に寄るを矢筈押し返し押切つて矢筈の勝▲岩に逆鉾は無雜作に押出し白岩の勝▲阿蘇嶽に宮城山は阿蘇右差し輕く捻り阿蘇の勝▲清瀬川に東雲は清瀬二本差し紅葉川は猛烈に突張り合ひ突き出して源氏の勝▲三杉磯に釋迦嶽は釋迦取つたりに行くを三杉浴せ倒して三杉の勝▲栃木山に阿久津川は右四ッこなり寄り倒して栃木の勝

自動車 眞逆樣

原因は運轉手の醉拂ひ

十四日午後七時四十分京城府寺洞一七四番地朴昌鳳所有自動車に運轉手京畿道安城郡邑川面基里百卅三番地李奉源（二七）助手社稷洞三六番地李汞觀（三三）が乘込み乘客なる全羅南道木浦府竹洞四八番地孫萬學（三〇）を乘せ南大門外に送る途中太平通二丁目大漢門前に差蒐りたる時突如大爆音を發して自動車は眞逆樣に顚覆し運轉手孫の三名は泥醉ラーゼットキャップを打毀し茶苦茶に破壞し運轉手は入事不省に陷り乘客も右手前腕及び腹部に治療二週間を要する擦過傷を負ひ助手も叉負傷したるが長谷川町交番より二名の巡査は出張し負傷者をそれ〴〵町立東病院に送りて手當を加へ一方顚覆原因を取調べたるに運轉手は酒に醉ひ居り顚覆數刻前も疾走振にて光化門方面より疾風の如く走り來り既に差蒐る際何物か障害物を避けんこして此椿事を惹起したるものにて運轉手は安東病院收容約一時間にして正氣附き助手よりも輕傷なれば十九日本町署に招喚取調べを受けたり

紹介

▲部●鷗軒新箭落成 旭町黃金町の鷗軒新築中にあつた鷗軒の新築落成せるを以て同軒にては開業十五周年記念を兼ね十三日新聞關係者を招待して自祝の宴を催した

演藝案內

潮劇を觀る

十三日から壽館に出演中の井川甚雄一行新派劇の第二日目替り狂言こして佐藤紅綠氏作の『潮』を演じて好評だつた。凍次の私田信中、賀山米津文子、文殿の坂巻お宮、正太の米津西三郎、母子の坂巻お嫁、富雄の坂巻正井利福富の出來榮であつた。中にも甚雄の東吉は適り役、故高田實を髣髴せしめる貫々たる價格さ力强い殊に熱の籠つた台詞は斯うした役を生かすに充分である。子役夏子のお富も巧かつた。宗太の信市は確りしたこころがあつた。

▲壽館 三の替り（十七、十八日）『新羽衣物語』全五場 浪界の泰斗小家樂遊來る

樂遊は來る二十一日から浪花館に出演するここゝなつた。樂遊昨年同館に出演したが其當時は健康勝れず咽喉を痛め居たさうであるが今度は健康も恢復し樂遊の眞價を發揮するであらうさ

地中より亞鉛

龍山漢江通大島町一番地に於て目下工事中なるが十一月地下三尺の個所より三ブ六浪形亞鉛板三十八枚を發掘し驚いて其筋に屆け出でたるが時價五十余圓なりこ

演藝案內

▲大正館 日本活動寫眞會社代理店 櫻井町 電話八七三 ◎常る五月十四日より三大映畫提供 ▲鍛錬『敵九代目市川團十郎像除式』○新派『親心』全四巻 ▲新派悲劇『懸賞』全六千呎 名優エミリー・ステヴエンス嬢 イスタ・ンヤムパース氏代出演 ▲人情劇『魔の囁き』四千呎 ▲新派悲劇『牡丹のお蝶』全六巻

▲黃金館 黃金町 電話一六三七 ◎當る十四日より新寫眞提供 ▲活劇『木枯おむら』全四巻 ▲活劇『鐵の手袋』第十一 十二篇 ▲新派悲劇『南山血染』旅順 全五巻

▲喜樂館 本町一丁目 有樂館 電話九七番 ◎當る五月十四日より引續き三大映畫提供 ▲新派劇『關東七人男』

▲浪花館 明治町 電話一六〇番 ▲浪界青年雄演會

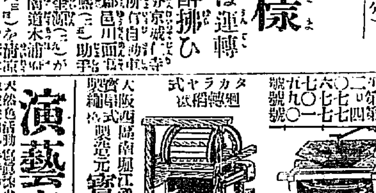
▲壽館 本町二丁目 電話七八五 ▲新派劇『新羽衣』全五場

○壽館 新狂言喜劇 勝小島干九堂氏作新羽衣

完全粉摺臼 實屋式 特許 新案 第二〇七四號 第六〇七七一號 第七九〇一號 第二九七號

○一日摺米十石餘 ○一時間摺歩合九歩以上 ○耐久力二百年以上 ○本機は使用にも熟練を要せず運轉も輕便なれば何人にも使用し得られる

大阪西區南堀江通三丁目 製造元 實屋商店



立身出世の近道 齒科技工士 收益多大

大木耳鼻藥

大阪株式 期米特電 安値 止め

下期米特電

神戸期米特電

緩衝地帶問題

廣東軍隊陳炯明攻擊準備

山東同鄕會

大阪期米特電 十五日後場(前保合) 寄付 四一、〇一 高値 四一、四六

平壤選擧熾烈 餘す僅に數日のみ

平壤學校組合議員選擧期日も愈よ數日を餘すのみとなつた一般候補者連の東奔西走宛ら戰ひつゝあるは今更事新しく云ふ迄もないが何がさて例の現株問題で

一般市民側 と現公職者側との激戰は亦一層我平壤に於て嘗て見る能はざるの戰況たるは之亦言を俟たざる處であら、現在の處候補者の顏觸として明確に判つて居るのは左の通りであるが之が市民側と公職者側とによつて

色分けを して見ると

▲現公職者側 ▲藤本達次郎▲脇阪喜之助▲定永鶴吉▲內田錄雄▲村井正明の五氏

▲市民側 ▲奥田英一郎▲福岡三三▲一柳村五郎▲淺田松太郎▲吉田準一▲川村甚二▲山田鐵次郎▲宮亭▲齋藤長藏▲下島幾八▲小林文治▲奥田政吉▲小松長五郎の十三氏▲其他尚井有▲神阪退三の二氏

以上合計 二十名である が未だ此の外に本町の推薦さんが居る樣であるが本人の意志は未だ確定しない樣である、尚橋都て稻葉齋之助氏の出馬を促して居る樣であるが樹氏は市民側として又在鄕軍人會よりとして或は醫師會よりとして出馬の準備成り既に陣容を整へて運動に着手した樣であつたが

一說には 都合上退いたと云ふことである、而し之は今尚判然しないから確信は出來難い、何れ間違ひとなれば又一層激戰を見ることであらう(平壤)

大邱客月貿易

四月中大邱貿易額は輸移出十七萬一千四百八十一圓輸移入六十四萬四千五百十九圓合計八十一萬六千圓にして前年同月に比し輸移出に於て六萬七千百九十圓の增進を見たれども輸移入に於て三千二百四十圓を減退せし爲め結局六萬三千九百五十圓の增加にして前月に比すれば實に四十三萬六千圓餘の激減なり輸移出に在りては煙草及び其他の諸品に於て多少の出增を見又輸移入に於ては綿糸布日本木綿粟及び其の他の諸品に入減を見たるに基因せり(大邱)

安東市況不振

金融梗塞依然たるに加へて銀の暴落著しく輸出入貿易を沮害し柞蠶絲、豆粕等の取引閑散なるは木材も又建築界の不振と荷爲替不能により先約物の契約取消し多く各製材業者の蒙る不利益甚しく操業を短縮又は休止して形勢を觀望するの外なきを以て安東の各界は未曾有の閑散を告げつゝ有某有力なる商人の觀測する處によれば本月中旬にも入らば幾分人氣緩和するならんと云へども當分は此の商狀を持續するの外なかるべし(安東縣)

慶北出品福博入賞數

慶北道一般慶尚北道より福岡に於て開催せる工業博覽會に出品せる工產品約三十點の中審査の結果九點入賞せり尚は安東麻布、紬及び慶州にて抄造せる朝鮮紙は賞牌を受領せり(大邱)

日本鑛業會員平壤視察

日本鑛業會員一行三十名は十六日午後零時二十七分着列車にて來壤し小憩後特別列車にて寺洞鑛業所に向ひ約二時間同所視察後再び特別列車にて歸壤し翌日市內視察の上夫々所定の旅宿に投宿する筈(平壤)

▲理學士伊木常藏氏▲工學士池上爲之助氏▲小畑鉚鈫氏▲小野崎之助氏▲工學博士加賀正雄氏▲工學士加義健兒氏▲工學博士彼子恭輔氏▲工學士笠原總太郎氏▲工學博士永積純次郎氏▲葛西重雄氏▲團長工學博士野呂景義氏▲工學士山下成一氏▲理學士山田皓氏▲工學士山縣修氏▲山田賀一氏▲山野好恭氏▲世話人工學士孟田達氏▲法學士丸山長渡氏▲松本平三郎氏▲工學博士舟橋了助氏▲工學士小林子之輔氏▲蔬田尚等氏▲工學士阪本平助氏▲工學士吉川任兵衞氏▲佐山陸之助氏▲三浦勝氏▲宮部準次氏▲工學博士比企忠氏▲工學士平岡通也氏▲森久太郎氏

新たに生れた平壤公正會 規約內容

豫て屢報の如く平壤に於ける京城現株式會社現株問題に關しては之か割當を受けたる公職者側と一般市民側間に各種の議論を釀し其結果有らゆる方面に餘波を及ぼすに至り今に最善の解決を見ずして今日に至りたるが時恰も學校組合議員選擧の期日に切迫するや市民側にては絶對に現公職者をして再び議員たるを許さすと主張し其運動益々熾烈を極むるに至りたるが茲に於て平壤公職者中の一部及其他の有志中內田錄雄、中丸好太郎、石隈信乃雄、深田九馬三、松尾六郎、村井正明、松井民次郎、長谷川義雄、藤本達次郎、中平岩藏、新野吉兵衞、平澤耕太郎、高阪一惠、古莊仁太郎、齋藤忠次郎の諸氏を會員として左の如き規約の下に平壤公正會なる者を組織したり

●第一條 本會は平壤公正會と稱す

第二條 本會の綱領左の如し

一 誤れる宣傳を爲し市民を迷はしめ以て秩序と市勢の進歩を妨げんとするものに對しては極力反對すること

二 府行政及公共事業に關しては制度の進歩と其機能の堅密とを期待し常に公正の精神を以て其の行動を執ること

三 從來吾人の唱道しつゝある市の發展を促すべき各部問題にして未だ解決を見ざるものに對しては速に其實現を期し進んで將來に要す可き施設に對し最善の努力を拂ふこと

第三條 本會は春秋二季大會を開き必要の都度臨時大會を開く

第四條 本會に幹事三名を公選し其任期を一箇年とす

第五條 會員は本會の經常費に充つる爲毎月金一圓を支出するものとす

第六條 入會せむとする者は幹事の承認を要す會員にして本會の趣旨に反する者は大會の決議を以て除名することあるべし

井戸川旅團長赴任

今回近衛師團第二旅團長に榮轉したる元步兵第三十九旅團長井戸川辰三氏は十五日午後〇時三十五分平壤發列車にて任地に向ひたるが驛頭には多數官民有志の見送りあり非常の盛況なりき(平壤)

陸軍大學見學團

陸軍大學滿洲見學團一行は滿洲方面の視察を終り十七日午後四時四十分安東驛着下車一泊の上十八日午後五時四十分發列車にて京城に向ふべし(安東縣)

平壤市民大會 協議會解散 革新會組織

京城現株問題に關し第一、第二回の市民協議大會を開きたる市民側は近く擧行せらるべき學校組合議員選擧を眼前に控へたることゝて豫て第二回協議會に於て決議したる事項を實行すべく十五日午後一時より歌舞伎座に於て協議大會を開きたるが森岡二三氏開會の辭を述べ亞いで一柳村五郎氏其他數氏の演說あり後に協議に移り市民協議會は今回を以て一先づ解散を告ぐることゝし成り新に平壤革新會を組織して第一、第二協議會に於て決議したる事項を完徹すべく評議員として前會行委員を擧ぐることゝなり午後五時三十分無事解散したり(平壤)

寺澤正明氏 幕末の志士

悠々釜山に老の身を養ひつゝあつた

劍道所謂文武兩道に秀で殊に彰義隊の志士として嘗ては黑田清隆、榎本武揚等の志士と共に明治十七年朝鮮より逃れ來たりし朴泳孝、金玉均兩氏の庇護の任に當り國事に奔走する所あつて始終の目的たりし紳士の一人たる釜山圖子の許にて老を養ひつゝありし現釜山鐵道ホテル主任寺澤寬氏嚴父正明氏(七十)は十三日午前五時逝く寄ごと共に永眠し十四日午後四時市內發寺に於て佛式を以て葬儀を營まれたるが會葬者多數にて非常の盛葬なりき(釜山)

棉作組合豫算

大田棉作組合に於ける大正九年度の豫算額は九千四百卅二圓にして昨年度に比し千五百十二圓を增したり其增額の主なる原因は物價騰貴に依ると又本年度は新に棉作と毛品評會の開催費を計上し棉作獎勵里に無償肥料の給與並に模範作場三箇所の新設等に依るものなりと(大田)

道三部長南行

關水忠南第三部長は五月十三日論山方面へ出張の為め十四日午前十時五十分大田發南行列車にて大田に下車來田少憩の後同十一時四十分大田驛發南行列車にて大邱に赴きたるが山口忠北第三部長も同列車に同乘したり(大田)

大邱研究會

大邱府尹松井信助氏の斡旋に成る大邱研究會は十二日午前十時より大邱府廳樓上に於て開催し出席會員廿餘名にて折柄來邱中の東京實業家一戶金太郎氏も臨席し諸氏の計畫せる朝鮮中部鐵道敷設に關し彼此意見の交換あり終つて航空路設置に關する當局の說明程度に就き佐瀨商業會議所書記長より經過の報告ありて散會せり(大邱)

公會堂委員會

平壤公會堂設施委員會は去る十二日午後一時より商業會議所樓上に於て開催したるが重要協議事項としては之が經營方針に關する件なるが本件は商業會議所に於て經營すべく略決定せり(平壤)

營林廠野遊會

營林廠に矢野久三郎氏は十五日午後三時より同廠構內見本園に於て在新義州安東在住官民數十名を招待して野遊會を開きたるが頗る盛會なりし(新義州)

聖日講演會

十五日は安東各商店の公休日に付例の通り午後二時より鎭江山朝日閣に於て釋佛海師の講演會あり終つて茶菓の饗あつて非常の盛會なりし(安東縣)

○商專生徒歸釜 八日出帆の豫定を以て九州地方修學旅行の途に上れる釜山商業專修學校第二學年生徒四十四名は福岡工業博覽會其他九州各地方の視察を爲し十一日夜著連絡船對馬丸にて歸釜せり(釜山)

○小學校遠足會 大田公立尋常高等小學校第一學年生徒は受持教員引率し夫々遠足運動をなしたり(大田)

○清酒受賞自祝 大田酒造家中尾常次郎氏は過般論山郡廳にて開催したる忠南清酒品評會に於て稱水正宗が一等賞に當選したるを以て自己の經營する公園に關係者を招待し自祝の宴を開きたるが折柄滿開の藤花た貫でながら主客歡興を盡して散會したり(大田)

期米內氣配 注目せる當限の買方に……りを爲せる軟派あるを傳へらる

丈夫で安い實用靴 ボックス革靴 編上靴 甲九圓九十錢 乙五圓九十錢 深ゴム靴 甲六圓九十錢 乙六圓二十錢 乙形半靴 甲七圓二十錢 乙五圓九十錢 乘馬用長靴 九圓五十錢 御注文の節は寸法御記入の事 代金引換小包で御送り 陸軍御用 ツブク靴店 東京牛込若宮町六〇 振替東京一八四八番 ●工場 牛込區白銀町十番

月やくとまり不順でお心配の方へ 月やくとまり不順で下腹の痛み頭痛の方や物まづく下腹いたみ御心配の方は一日も早く此藥を飲まれよ 東京 東洋藥院

るいれきさ(グリグリ) 首筋耳の下腑に出來る人傷 キラズ 播州 清水寺

サック 防毒 婦人專用珍具 男子專用珍具 國益社

天下の人氣を集中せる 活動俳優身の上噺 ▼生ひ立ち、戀物語、家庭等を網羅し ▼愛活家諸君、活動寫眞は面白いが役者の生ひ立ち、年齢、戀愛から結婚、家庭の事情の末までを知つて見れば一層面白味がある。本書は人氣を集中せる仙太郎、延十郎、四郎五郎、梅太郎、山長、吉之助、河原市松、本嘉一、藤野秀夫、東猛夫、井上正夫等東西活界の花形俳優八十餘名の身上噺を遠慮會釋なく素破抜いたもので、寫眞の上で老人に見えた人が案外若かつたり、獨身者と思はれた人に子供があつたり、惡役のみになる人が、其實は極く優しい性質であつたり、いや見違への色男であつたり、意外の事許りで面白い事は小說を讀むより以上である ●俳優住所錄を附してあるから愛活家諸君必讀の本である。●定價金五十錢送料十二錢 東京麴町 二光社

經濟第一、美味第一の調味料
味の素愛用家の御便利を圖り
新しく賣出した
卓用瓶入味の素
賣切とならぬ內早くお求めあれ!!

特長 一度お求めになれば永久に御使用出來る頗る美麗なるガラス瓶にして、アルミニーム製の上蓋をとれば振り出し式に味の素が多くも少くも自由に出る實用的の裝置、お食事の時、卓上に備へ置けば隨意に美味しいものが即座に召上れます、是非一つお求め下さい、調味料として鰹節より昆布より經濟なのは味の素です。

味の素は全國到る處の食料品店にて販賣せり

5—G

大日本人造肥料株式會社朝鮮總代理店 三井物產株式會社特約販賣店 米雜穀肥料 鮮滿物產 輸移出入並 委託賣買 越田市太郎商店 釜山大廳町一ノ四六 電話長七七七番 電略(コシ)(コ)

資本金貳百萬圓 諸積立金卅六萬八千圓 株式會社朝鮮商業銀行 京城府南大門通一丁目十九番地 電話長六八一番・五五八番・一五五〇番・三壹〇七番 振替京城一六三四番 銀行長 趙鎭泰 支配人 岩崎虎次郎 京城南大門支店・同本町支店・同東大門支店・仁川支店・平澤支店・群山支店・利川支店・內地、朝鮮、臺灣、青島、哈爾賓、上海、滿洲の各樞要なる地に爲替御取引の便有之候

石灰 生石灰 其他各種 製造元 朝鮮京畿道 大田春日町二丁目 大田石灰製造所

蜂印香竄葡萄酒

一度……飲んだら止められぬ
美味と滋養の蜂葡萄酒!
食前の一杯は健康長壽の基
(適用) 疲勞し易い人 冷え性の人 食慾不進の人 胃腸弱き人 產前產後の人 貧血性の人 消化不良の人 不眠症の人 神經衰弱の人 病後養の人 滋養不足の人 老衰した人

合資會社 近藤利兵衞商店

EUKIRIN 神經衰弱特効 ユーキリン 種類 粉末 二五瓦入 錠劑 一〇〇錠入 膠囊 一〇〇個入 本品ハ本邦蛋白化學ノ泰斗タル帝國大學教授鈴木博士創製ノ吸收性同化性燐劑ナリ 本品ハ營養ヲ增進シ神經衰弱、陰萎、營養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス。說明書アリ進呈ス 東京室町、大阪平野橋東詰 三共株式會社

……上海經由北京に派遣したり……命は東京より……打電し來れり(北京電報)

驅逐隊員歡迎

驅逐艦隊は十五日正午元山入港七時より會議所樓上にて乘組員の歡迎會ありたり(元山特電)

……制する事を決議し代表十名陳外交次長に面會を求めたるも陳氏は病と稱し面會を拒絕せり(北京電報)

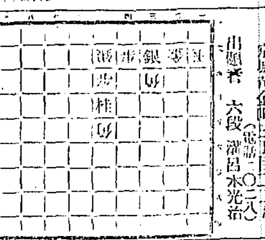
侠客奇譚 祐天吉松

第二八席　神田伯山講演

權『汝のやうな奴が、誓言をしたればこそ勘辨は出來んぞ、強ちて勘辨をして貰ひたくば、汝の主人の四宮が茲へ參つて低頭平身をいたせば許してやるに依つて主人を連れて參れ』吉『御串戯じやつちやァ往けません、犬や猫の間違ひから御主人へ大地へ坐つて詫びて下さい、然うすれば私の命が助かりますと、其んな事が何の面さげて云はれませう、其れァ駄目でございます』權『エー云ふな』と云ふと、突然片膝立てて持つたるノベの煙管をパッと投げた、アッと吉松が身を轉はさしたが轉し損つて頭へ煙管の雁首が當つたから堪らない、眉間が裂けてタラ〳〵と頬を傳はつて胸の邊へ流れる血潮、吉『アイタッ……モシ先生、ヤヤサ齋藤の旦那、猫や犬の喧嘩に就て人間の眉間へ斯んな疵をお附けなすつたな……イヤ是も仕方がねえ、長い者には卷かれろだ、モウ斯うしたら大體御勘辨が出來るでせうな』權『汝の如き奴の顔の一つや二つ打ち毀したればとて何の差支もあるまい』吉『エーッ勝手にしやアがれ、汝のやうな木像に話をしたつて駄目のこつた、何うでもしろ』權『ナニ、武士たる者を木像とは何だ』と飛下りた齋藤權太夫、スラリ引抜いた大刀、エイッと吉松の眞甲目覺けて斬付けた、パッと吉松身體を轉したからヨロ〳〵と前へのめつて出る奴を、馬鹿野郎ッと云ふと共に眞鍮鍔の木刀を引拔きざま打下した奴が、見事に眉間へ中つたから腦骨碎けて眼球が飛び出し、キヤツと云ふと齋藤權太夫それへ打倒れた、モウ一つ、モウ一つ、以上三ツ打たれて到頭鐸切れて終つた　吉『フム、汝が惡いからよ』とセヽラ笑つて吉松は悠々と表へ出たが、屋敷へ歸つては却つて御主人が迷惑をするだらうと、一足で直に御家老武田伊賀様へ行つて、斯う〳〵言ふ譯でございまして、齋藤權太夫を殺しましたと訴へ出ました所が伊賀様は御用先から御歸りになつて、委細御聞き遊ばし、悪くは計らはんに依つて兎も角當番目附藤浦源兵衛方へ訴へ出ろと云ふ御差圖、早速藤浦邸へ出て是々と申立てる、所へ程なく伊賀様が御入でになつて、改めて逐一御調べの上、大體は齋藤權太夫が大猫と人間の命と共にするとは怪しからん奴だ、それも全く吉松が猫を撲殺したるなれば兎に角、さにあらざる事は現場を見たる證人もあつて明れば疑ふ所もない、正しく權太夫が惡い、併し例令何でも人一人殺した罪は免れない、相當の御法に行はなければならぬ、何う云ふ工合に處分したものであらうかと評議の折柄、四宮隼人初め、御家中の人々より吉松の命乞ひな嘆願に及びました、勿論平常から齋藤權太夫は憎まれて居るから、却て殺されたのを心地好く思ふ位、そこで齋藤の家は斷絶幸ひ妻子も無く、權太夫の死骸は取捨て、吉松は武田伊賀様の御計らひにて下谷廣徳寺へ參り一時出家いたせと云ふので、吉松の命は助かり、一旦四宮隼人が引取り　隼『武田様から御書面を下すつたから之を持つて廣徳寺日桂和尚の許へ參れ』吉『ヘイ有難う存じます』隼『御家老より小遣ひとして十五両下し置かれた、必ず此の御恩を忘れてはならぬぞ』吉『恐れ入ります』隼『此方から十両遣はす、それから此の手紙は別に拙者から和尚へ頼みの書状、二通持つて參れば和尚も快よく計らつて呉れるであらう』吉『種々御心配下さいまして御禮の申しやうもございません、それでは御暇致します』とこゝで與惣兵衛初め若黨の神戸要助にも夫々暇を告げて二通の書面と三十五両の金を懷にして吉松は下谷廣徳寺へ參り和尚に面會をして是々斯様々々、皆様が命乞ひをなすつて御家老様の御計らひで此方へ出ましてございます、どうか宜しくお願ひ申します　日『ハヽヽ其方御指圖番の齋藤權太夫を打殺したとは飛んだ事をやつたな、併し御家老や四宮先生の御頼みであるから如何にも世話をして遣はす、持參の金子三十五両は預かつて遣はすから此方へ出せ、出家する者が金を多く持つて居つては修行の邪魔だ、兩先生からも金は預かつてやつて呉れと云ふ御書面だから、預かつて遣はす』吉『ヘエ確かに御預け申します』

懸賞詰將棋（第十四回）

京城南金町三丁目二五（電話一〇二八）
出題者　六段　清島木光治



（持駒）飛飛金歩歩

募集規定

▲賞品　價　壹圓（本社代理部購買券）
▲入賞者　壹名（但正解者多數の時は抽籤す）
▲締切　五月二十五日
▲注意　京城日報社將棋係宛の事

第十三回詰將棋解答發表

四四銀打　同玉　五三角ナル　三三玉　四五桂打　二三玉　二二[illegible]　四銀打　同玉　三六桂打　[illegible]

（正解棋譜）

[illegible]　三十七手

▲正解者　忠北鎭川邑　杉和恵
▲入賞者　同上

五月十八日

（舊）四月朔日
▲火曜日 ▲西 ▲七赤 ▲暗劍西 ▲佛滅 危

▼七赤▲艱難辛苦の事に逢ふ日
▼八白▲元氣旺盛利を占むる日。願ひごとは心のまゝに叶ふべし
▼九紫▲氣の揉める日。萬事は[illegible]
▼一白▲幸運盛大の日。移轉[illegible]
▼二黑▲初めに躓くの日。[illegible]受験は勿論醫者、醸造、鑛山[illegible]
▼三碧▲平凡なるも新事は不可
▼四綠▲手落無く注意すべき日
▼五黄▲大望成就する日。[illegible]最も吉、待人來る
▼六白▲福德合せ集まるの日。上の引立を受け思はぬ幸福を得

井上博士ノ

ロート目藥

目ニ見エテズンズントキク
シマス
イタマス

徳用瓶 一圓　大瓶 五十錢　中瓶　小瓶
◎全國各藥店ニアリ

玉のやうな肌は

若々しくする美膚料

クレームレートで

お肌へクレームレートを、擦り込まれると。

▼毛孔を開いて、お肌の地から整へ、垢や汚れを除り去るばかりでなく、よく日焦けを防ぎます。
▼お顔の色艶をよくし、小皺を伸ばした上にお肌を若々しく、美しくいたします。
▼クレームレートを下地に粉刷き化粧をすれば、それはそれは手軽で美くしい御化粧が出來ます。

この實驗は三越のお化粧室で常に試驗されて居ります

本舗　東京 大阪　平尾賛平商店

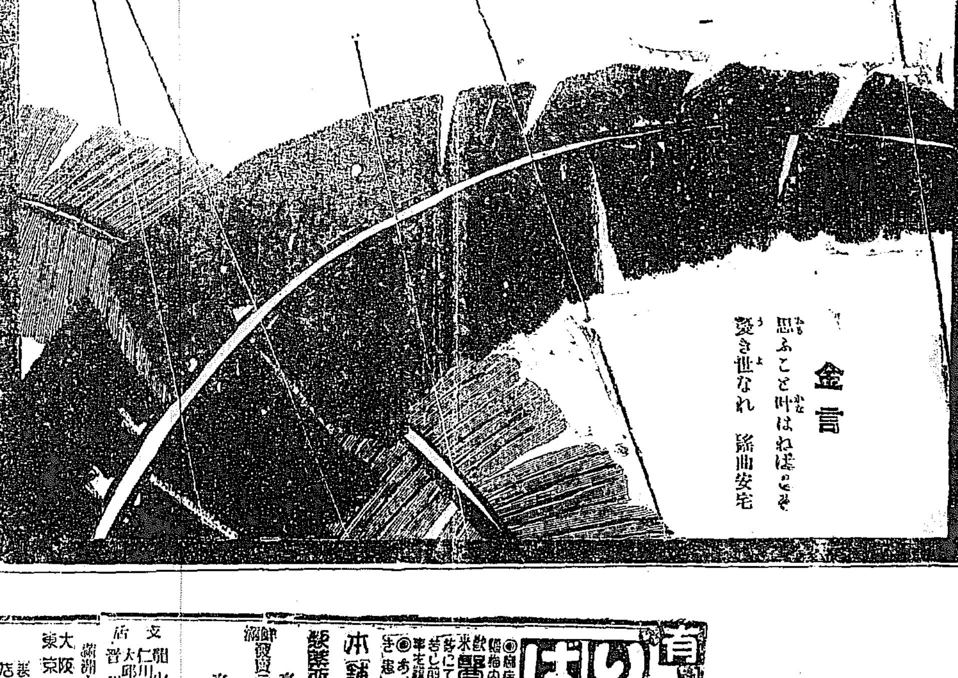
消化と毒けし

仁丹

三西醫學博士御方劑
本舗 大阪市 森下博藥房

そぼ降る雨の日
仁丹一粒
心晴れば晴れ

讀書に仁丹・頭腦明晰
執務に仁丹・心身爽快
食後に仁丹・胃腸強健



金言
思ふこと叶はねばこそ
憂き世なれ　謠曲安宅

りん病
ばい毒

讀賣　合藥料　藥

◉淋病讀賣は淋疾用として醫藥學上最有効と認定し[illegible]
歐米醫科大學帝國大學病院[illegible]
◉あらゆる治療を試みても効なき患者は[illegible]

百圓進呈

本舗 大阪心齋橋筋本町　有田音松
製藥所 大阪内本町二丁目　有田ドラッグ
京城南大門外（電車通）　有田ドラッグ
京城黄金町三丁目（電車通）　有田ドラッグ

にせが出來るヨ
盛になると　にせが出來るヨ

有田ドラッグ

有田ドラッグ　東京日本橋通四　大阪心齋橋筋本町